

奄美図書館だより

平成24年11月1日発行
第257号 (11月号)
鹿児島県立奄美図書館

〒894-0016 奄美市名瀬古田町1-1 TEL0997-52-0244

HP address : <http://www.library.pref.kagoshima.jp/amami/>

E-mail address : ama-lib@pref.kagoshima.lg.jp

第11回大島地区 「ふれあい読書フェスタ」

10月13日(土)、龍郷町中央公民館にて、「出会いと感動・本は友達～生涯を通じて読書に親しむ人づくり～」をテーマに、鹿児島県図書館協会奄美支部主催の第11回大島地区「ふれあい読書フェスタ」が開催され、家庭・学校・地域での読書普及のあり方について考える機会となりました。

開会行事では、大島地区優良読書会として、薩川小学校読書会(瀬戸内町)、芭蕉布(与論町)、上野代さん(奄美市)、勝台桑さん(龍郷町)が表彰されました。また、図書館・公民館図書室功労者として、喜界町図書館司書・係長・館長補佐として御尽力いただいた、得本拓さんに感謝状をお贈りしました。

龍郷町では、各学校、公民館図書室、読書サークル・子育てサークルなどで、読書習慣の形成を図り、心の教育の推進に努めています。

育児支援サークル「かめのこ」の実演では、日頃の活きの様子を、子どもと一緒に手遊び歌や読み聞かせなどで紹介していただきました。

その後、秋名小学校で行われている、言葉を大切に教育の一つである「音読オリエンティング」を、園田裕子校長に紹介していただきました。「音読」と「オリエンティング」を組み合わせることで、優れた日本語のリズムとして覚えることができるように、名文・名句を校内の樹木にかけて、子どもたちも地域の方々も楽しんでいます。

放送大学鹿児島学習センター所長である中山右尚先生の講演では、「伝記を読む楽しさ～国学者 堀保己のことなど～」と題し、堀保己の生涯を追いつつ、伝記を読むことによって人物像が明らかになっていくことの楽しさや、人生を豊かにし、人を創る本のすばらしさについて話をされました。

今後、一人一人が読書によって人生を豊かにし、家庭・学校・地域・職場でさらに読書の風が吹いていくことを期待しています。



第9回ネリヤカナヤ創作童話コンクール

第9回ネリヤカナヤ創作童話コンクールに、大島地区内の児童・生徒から273点もの応募がありました。子どもたちの創造力あふれた作品ばかりです。11月21日(水)から12月9日(日)には、第1回からの応募作品全てを展示した企画展を行います。ぜひ、ご覧ください。



奄美の復興と婦人会の発展に尽くした半生

もと 「基 八 重」

基八重さんは、明治33年(1900年)に東京都赤坂区に生まれ、大正10年、東京で勤務していた基俊夫さんと結婚しました。結婚当初は、東京を生活の根拠とする予定でしたが、夫の俊夫さんの実家を守っていたお姉さんが老齢になったため、大正13年、郷里である名瀬に帰りました。お姉さんが亡くなり、昭和5年に俊夫さんも亡くなると、名瀬の小金久で子どもたちの養育に専念しました。そして、お姉さんが会長を務めていた仏教婦人会や、名瀬町婦人会活動に従事しました。

「母看ると 旅券を乞いて 行く旅に

復帰悲願の 資料秘め持ちし」

東京に住んでいる老母の看病にかこつけて、旅券の発行を受け、奄美大島の日本復帰の嘆願書をたずさえて、昭和28年6月6日、金十丸で名瀬港を出港しました。そして、福岡の地で、副会長の橋口初枝さんと共に、アメリカのルーズベルト大統領夫人と会見しました。そこで、「元鹿児島県大島郡即時復帰請願書」を差し出し、復帰促進への協力を訴えると、ルーズベルト大統領夫人は、「私もそのことは深く考えています。アリソン大使にも手紙を出してあります」と、二人に手をさしのべられ、女性同士の固い握手をしました。その2ヶ月近く経過した昭和28年8月8日、奄美大島返還のニュースが、ダレス長官の声明となって発表されました。

また、奄美群島日本復帰後の復興のために、基家伝来の広大な土地を名瀬市及び鹿児島県、国に譲渡することに力を尽くしました。

これは、祖国復帰の節目の年に発行されている「郷土の先人に学ぶ 第5集」に紹介されています。

特別整理休館のお知らせ

奄美図書館では、特別整理期間を設け、蔵書の棚卸し、本の整理・修理等を行います。

その期間は休館させていただきます。利用者の皆様にはご不便をおかけいたしますが、ご理解、ご協力の程、よろしくお願いいたします。

休館期間：11月27日(火)～12月6日(木)

- 11月6日(火)から11月25日(日)までは、一般・児童用ともに一人各10冊まで借りることができます。
- 休館中の返却は、奄美小学校側の返却ポストをご利用ください。

お知らせ

参加してみませんか！

第4回島尾敏雄記念室講演会

- 日 時 平成24年11月3日(土) 14:00～15:30
- 場 所 鹿児島県立奄美図書館 4階 研修室
- 内 容 講演「島尾敏雄の歴史学的視点
～最近の歴史学研究からみた『初論』の再評価～」
講師 奄美博物館学芸員 高梨 修氏
- 申 込 平成24年11月2日(金)まで[当日参加可]

奄美図書館書庫見学会

- 期 日 平成24年11月4日(日)
- 時 間 1回目 10:00～ 2回目 14:00～
- 内 容 書庫内の図書資料の紹介及び閲覧
- 定 員 1回につき20名(先着順)
- 締 切 平成24年11月4日(日)当日申込可

鹿児島県図書館大会

- 日 時 平成24年11月15日(木) 10:00～16:10
- 場 所 かがしま県民交流センター
- テーマ 「図書館利用の拡充を目指して」
- 内 容 パネルディスカッション、分科会
講演 「知の地域づくりと図書館への期待」
講師 慶応義塾大学法学部 教授 片山 善博氏

放送大学 第17回公開講座(奄美)

- 日 時 平成24年11月18日(日) 13:20～14:45
- 場 所 鹿児島県立奄美図書館 4階 研修室
- 内 容 演題 「大伴旅人『讃国歌』」
講師 鹿児島大学非常勤講師 富原 カンナ氏

11月の行事カレンダー



月	日	曜	行事・催し
11	3	土	むかしばなしの会 10:00～ 島尾敏雄記念室講演会
	4	日	書庫見学会
	5	月	休館
	7	水	おはなしの森 15:30～
	8	木	青嶺短歌会 13:00～17:00
	9	金	育児サークル「こっちむいて」10:00～12:00
	10	土	あまみならでは学舎⑦ 14:00～15:30
	12	月	休館
	14	水	おはなしの森 15:30～
	15	木	鹿児島県図書館大会（鹿児島市）
	17	土	あまみ子どもライブラリー 10:00～ 大島地区小学校国語教育研究会 9:00～ 読書会「島にて」10:00～12:00
	18	日	放送大学公開講座
	19	月	休館
	21	水	おはなしの森 15:30～ ネリヤカナヤ創作童話コンクール作品 展示企画展（～12/9）
	25	日	奄美郷土研究会 14:00～16:30
	26	月	休館
	27	火	特別整理に伴う休館（～12/6）
12	9	日	郷土コーナー企画展（～1/9） ネリヤカナヤ創作童話コンクール表彰式
	16	日	クリスマスおはなし会
	25	火	郷土コーナー「奄美群島日本復帰記念講演会」

12月の休館日予告

12/1（土）～12/6日（木）（特別整理に伴う休館）

10日（月）・17日（月）・26日（水）

31（月）〔年末年始～1/2（水）〕

今月の新着図書コーナー

読書の風を
奄美から

児童

おかあさんの目
あまん きみこ
てがみをください
山下 明生
もりのかくれんぼう
末吉 暁子
世界のふしぎな虫おもしろい虫
今森 光彦
こんなにたしかに
まど みちお
とうさんおはなしして
アーノルド・ローベル

あかね書房

文研出版

偕成社

アリス館

理論社

文化出版局

その他5冊

郷土関係

光と陰の島
伊志嶺 隆
南島 一その歴史と文化5—
南島史学会

未来社

第一書房

その他6冊

おすすめの本

がちょうのたんじょうび

新美 南吉 小峰書店

来年は、童話作家・新美南吉の生誕100周年の年です。「がちょうのたんじょうび」は、新美南吉のユーモアと優しさが伝わってくるお話です。

あるお百姓さんの家の裏庭には、たくさんの動物たちが住んでいました。ある日のことです。アヒルたちが、なにやら話合いをしています。その話合いの内容は、ガチョウの誕生日にイタチを招待するかどうか・・・イタチは「おなら」の名人です。お祝いの席で「おなら」をされたら大変・・・さてさて、イタチは誕生日に招待されるのでしょうか。

一般

これでわかる天気予報の科学
山本 光義
宇宙飛行士になる勉強法
山崎 直子
9割の日本人が知らない「日本語のルール」
佐々木 瑞枝

合同出版

中央公論新社

中経出版

その他92冊

小説・随筆

虚像の道化師
東野 圭吾
解
堂場 瞬一
さくら聖・咲く
畠中 恵
お友だちからお願いします
三浦 しをん

文藝春秋

集英社

実業之日本社

大和書房

その他30冊

進学・ビジネス支援

障害者総合支援法がよ～くわかる本
福祉行政法令研究会
秀和システム
その他9冊

実はスゴイ！大人のラジオ体操

中村 格子 講談社

スポーツドクターである中村格子さんの書かれたこの本を読めば、たかがラジオ体操などと侮れなくなります。昭和9年頃から国民に定着してきたラジオ体操は、国民保健体操として、国民の健康増進を願ってつくられた体操でした。ラジオ体操は、国民の健康のための、究極の全身運動だったのです。毎日ラジオ体操を続けることで、肩こりの解消や、二の腕が細くなったりという嬉しい結果も見られるそうです。

健康な毎日を過ごすためにも、この本を読み、「ラジオ体操」を始めてみませんか。